

こうちがわ

河内川ダム建設の無駄と無謀 その②⁹

河内川ダム建設工事に係る

関西電力熊川発電所へのダム補償金に疑惑 14

(小浜市) 松本 浩

杉本知事は、関西電力（株）にからむ河内川ダム補償工事に係る虚偽の報告書を国土交通大臣に提出し、以て、使途不明の工事費9,000万円の隠蔽（いんぺい）を図った。

令和3年4月23日（金）、県庁において、筆者と河川課ダム担当者との間で要旨（一部補足）次のような問答が交わされた。

（辻岡企画主査、下中主任、向井主事）

● 付替水路工 9000万円

松本：平成30年度河内川ダム建設工事の補償工事費予算と工事完了実績報告との齟齬（そご）についてお伺いしたいのですが…

課員：はい…

松本：関西電力発電所に係る付替水路工事費9000万円が、平成30年度末の補助金交付変更申請で国土交通省に承認されました。ところが、翌年度の補助金交付申請書と国の承認に係る公文書である「河内川ダム事業総括表」の前年度実績欄に当の補償工事費9000万円が記載されていないという問題です。

課員：はい。

松本：昨年12月3日に小浜土木事務所からご説明を受ける予定が今年の2月22日まで延びて、文書回答を頂いたんですが、内容が私の質問への回答になっていたので、その場で再度お聞きしたところ、そのことは小浜土木の担当ではないので本庁の河川課に直接聞いて欲しいと言わされました。

課員：はい。

松本：それでお聞きするような訳です。河内川ダム建設工事に係る平成30年度の補償工事費の当初予算は付替町道5700

万円のみでしたが、年度末の変更申請で新たに付替水路9000万円が追加承認されて、30年度の補償工事費は1億4700万円になりました。

ところが、翌、令和元年7月に福井県が変更申請、8月に国土交通省に承認された令和元年度「事業総括表」の前年度補償工事実績欄に9000万円の記載がなく、当初予算の5700万円しか記載されていない… 9000万円はどこへ消えたのか、という質問です。

課員：… それは、当方のミスでした。

松本：えっ、ミス… 記載ミスとおっしゃるんですか。

課員：そうです。記載ミスです。

松本：そんな馬鹿な… 9000万円もの公金が「記載ミス」で消失してしまうんですか。

課員：いや、消えてはいません。実際（杉本知事が）国交省へ提出した「平成30年度事業費清算総括表」に記載されたとおり、補償工事費は1億4700万円余りが予算どおり支出されています。

松本：… あなた方は今言われたように、国土交通省に対する杉本知事の「完了実績報告書」のとおり「平成30年度末補正の補償工事費9000万円は、付替水路30-1と付替水路30-3工事に使つた」と公表しています。

昨年7月の共産党地方議員団交渉での北原町議に対する公式回答でも、私への開示公文書でもそうなっていました。

課員：はい。

松本：しかし、付替水路30-1の当初請負契約は平成30年5月10日、同30-3の当初請負契約は平成30年7月24日です。

ところが、あなた方がその財源だとおっしゃる補償工事費9000万円の補正を国交省が承認したのは、翌年平成31年2月25日でしたから、30-1工事と30-3工事の財源は請負契約当時にはなかったのではありませんか。

〈当初契約の請負代金と工期〉

- ・付替水路30-1 33.015千円
H30.5.11～30.11.16
- ・付替水路30-3 40.914千円
H30.7.25～30.11.16

課員：…

松本：財源はなかったのでは…

課員：… 財源はあるんです。

松本：付替水路30-1、付替水路30-3の当初請負契約時の平成30年度補償工事費は「付替町道5700万円」だけだったじゃないですか。

課員：… 平成30年度の補償工事費の額 99億9100万円が記載ミスでした。

松本：えっ… また記載ミスですか。

課員：… ダムの本工事費（ダム費）から補償工事（付替水路）に転用した費用を補償工事費に記載しなかったミスです。

松本：…

しかし、「平成30年度河内川ダム事業費総括表」の「本工事費」の中から「諸設備8450万円」を「補償工事」である付替水路30-1と同30-3に転用したのであれば、それは単なる「記載ミス」として言い逃れることは許されない。

第一に、国庫補助金の交付条件には「経費の半分の変更をする場合は、国土交通大臣の承認が必要」とされているのに、県は変更の承認申請をしていない。

第二に河川課の同証言によれば、杉本知事が国に提出した「平成30年度事業完了実績報告書」の内容は下記のとおり虚偽であることになり、付替水路9000万円は付替水路工事に使われずに闇（闇電）に消え

たことになる。

〈杉本報告書〉

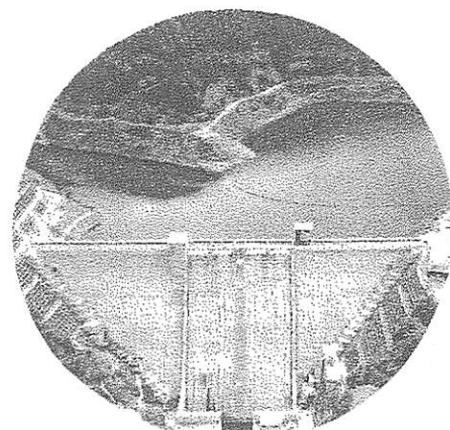
| |
|-----------------|
| 平成30年度の補償工事費 |
| 予算 147,000,000円 |
| 実績 147,853,401円 |

〈平成30年度補償工事〉

| | |
|-----------------|------------------|
| ・付替町道1号線30-2 | 44,064,000円（確定額） |
| ・付替町道1号線30-3 | 16,383,600円（確定額） |
| ・付替町道1号線30-4 | 1,328,400円（確定額） |
| ・付替水路30-1（本工事費） | 37,605,600円（確定額） |
| ・付替水路30-3（本工事費） | 48,481,200円（確定額） |
| 合計 147,862,800円 | |

但し、欠番（町道30-1・水路30-2）は「入札不調」（小浜土木）

第三に、「杉本報告書」は、現実には本工事費から支出された付替水路30-1と30-3の代金86,086,800円を含む147,862,800円が「補償工事費からの支出」と国土交通省に報告しているのだから、当該2件の付替水路工事の請負代金が二重に支出されていることに疑問を挿む余地はない。



● 付替水路工 6400万円

松本：平成30年度の補償工事は同工事費の残額2億3400万円を前提として組まれていますが、平成30年度実績が1億4700万円余だったのならば、31年度以降には2億3400万円も残らんでしょう。1億4400万円ほどしか残らないんじゃないですか。

課員：いや、残ります。

松本：… なんで残ると言えるんですか。

課員：平成30年度迄の補償工事費の総事業費（99億9100万円）を31年度には変更して100億7200万円に増額しています。8000万円ほど増額していますから。

松本：… 確かに31年度には補償工事費総額が8100万円ほど補正されてますが、それでも31（令和1）年度以降に2億3400万円は残らないでしょう。

課員：…

松本：平成29年度迄の補償工事費の完了実績（97億8100万円）に30年度実績1億4700万円を足した30年度迄の実績（99億2800万円）を31年度の事業費総額100億7200万円から差し引いても2億3400万円にはならないでしょう。

課員：…

松本：引き算すればそうなるでしょう。

- ・平成29年度迄実績（補償工事費）
97億8100万円 … A
- ・平成30年度の実績（補償工事費）
1億4700万円 … B
- ・平成31年度事業費（補償工事費）
100億7200万円 … C
- ・平成31年度以降補償工事費の残
C – (A + B) = 1億4400万円

松本：平成31（令和1）年度の補償工事費が1億4400万円余りしかないので福井県は、令和1年度の補償工事として付替町道1億7000万円と付替水路工6400万円、2億3400万円の工事を組んでいますが、それだけ財源はなかったんじゃないですか。

課員：…

松本：令和1年度に残された補償工事費は正確には1億4314万円余でしたね。

開示された工事管理台帳によりますと、令和1年度の補償工事には付替水路工事はなく、付替町道1-1から付替町道1-17まで2億383万円、17件の付替町道工事があります。

そのうち1-3工事は入札不調で契約不成立、1-4工事5140万円は林道補修工事で本工事費充当、1-17工事950万円は令和2年度繰越の本工事費充当、残る14件の付替町道工事の補償工事費合計が1億4108万円となっています。

令和1年度の補償工事の実績である付替町道1億4108万円は、同年度予算1億4314万円の98.55%を占めているので、関西電力の発電所に係る付替水路6400万円を施工する余地はありませんね。

課員：…

松本：ちなみに付替町道1-4・付替町道1-17（工事代金合計6275万円）は本工事費で施工されています。契約の当初は、付替水路工6400万円の使途を偽装する工事として計画されたと思われますが、6400万円は付替水路にも付替町道にも使われていません。

…使途不明ですね。

課員：…

松本：令和1年度の事業完了実績報告書はまだ国交省へ提出されていませんね。

課員：はい。まだです。国交省への実績報告書は事業年度の2年後の6月か7月に提出しています。

松本：これまでの報告書は6月末に提出されていますね。（次号につづく）

